

砂防だより



海辺の旋律（三保海岸）

年頭の御挨拶	2
平成22年度政府予算案閣議決定	3
2009年しずおかの砂防10大ニュース	
全国治水砂防促進大会が開催される	4
治山・砂防事業推進議員連盟が砂防事業を視察	5
市町等砂防担当職員研修が開催される（新潟県長岡市）	6～7
「避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成に係る説明会」の実施	8
由比地すべり対策事業について	9
インフォメーション	10～11
お知らせ	12



平成22年度 政府予算案閣議決定



全国治水砂防促進大会
市町等砂防担当職員研修



全国治水砂防協会静岡県支部

年頭の御挨拶



全国治水砂防協会静岡県支部
支部長職務代理者
副支部長 原田 英之

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

会員の皆様には、日頃から当支部の活動に対しまして、御支援と御協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年は、8月11日に駿河湾を震源とするマグニチュード6.5の地震や、年末の伊豆東方沖の地震活動などにより、県内各地に被害が発生しました。改めまして被害に遭われた方々に心からお見舞いを申し上げます。土砂災害に関しましては、地震によるものを含め、昨年は46件発生しましたが、幸いにして5年連続して人的被害はありませんでした。

一方、全国では、7月の中国・九州北部を襲った局地的な集中豪雨などによる土砂災害により22名の方々の尊い命が犠牲となりました。特に、山口県では老人ホームを土石流が直撃するなど、高齢者などの緊急な避難行動をとることができない方々の防災対応が課題となった1年でした。

近年、集中豪雨の頻発、連続雨量の増加などの気候変動も見られることから、いつ本県で大規模な土砂災害が発生してもおかしくない状況である中、住民の生命・身体を守るための早期避難が非常に重要となっております。このため、土砂災害の危険性が高まった時に、県と気象台で「土砂災害警戒情報」を発表し、住民の自主避難に役立つよう、テレビ・ラジオ・インターネット等を通じて県民へ注意喚起を促しております。市町へは防災行政無線でも伝達しておりますので、会員の皆様におかれましては、適時適切に避難勧告等の発令の判断材料として是非とも活用されますようお願い申し上げます。

また、国においては、政権交代により予算システムも大きく変更され、より地方の意向が反映される一方、安全・安心に対する各自治体の考え方・姿勢が問われることと思います。

「土砂災害による死者ゼロの実現」「安心・安全日本一」を目指し、今年も砂防関係事業の普及・発展に努めてまいりますので、会員の皆様におかれましても、より一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭の挨拶といたします。

2009年 しずおかの砂防 10 大ニュース

駿河湾内を震源とする地震の発生

8月11日5:07に駿河湾を震源とするM6.5の地震が発生し、県内各地に被害が発生しました。国土交通省TEC-FORCEの支援も受け、5市3町の2,190の土砂災害危険箇所について、12日から15日の4日間で緊急点検を実施しました。発生した32件の土砂災害は、再点検を行った上で対策等を定めることとしました。



平成21年は、土砂災害が46件発生

全国では山口県などで局地的な集中豪雨により、大規模な土砂災害が発生し、県内では地震などにより46件ありました。幸いにして、5年連続して人的被害はありませんでした。次期降雨により被害拡大のおそれがある2件については、災害関連緊急事業により対応を行っております。



年末に伊豆半島東方沖で地震活動が活発化

伊豆半島東方沖で、12月17日23:45と18日8:45に震度5弱を観測するなど、地震活動が活発な状態が続きました。負傷者7名、家屋一部損壊等118件などが発生しました。

土砂災害防止月間で広報

急傾斜地パトロールの実施、各市町の広報誌、「スキっと! 静岡!!」「こんにちは県庁です」をはじめとしたマスメディアなどあらゆる機会を活用して、重点的に啓発活動しました。

平成22年度 政府予算案閣議決定

速報

12月25日、平成22年度政府予算案が閣議決定されました。国土交通省の行政経費等を含む予算額は、国費ベースで対前年度比0.88の約5兆5846億円余です。予算のポイントの内、砂防事業に関係の深いものを示します。

政権交代時の民意を踏まえた政策大転換

(抜粋)

1. 公共事業予算の大幅な削減
4. 地域主権の確立に向けた予算制度の抜本見直し
 - (1) 社会資本整備総合交付金(仮称)の創設
 - (2) 直轄事業負担金の抜本的見直し
 - ① 維持管理に係る直轄事業負担金の廃止
 - ② 業務取扱費に対する地方負担制度及び補助事業の事務費に対する国庫補助制度の全廃

社会資本整備総合交付金(仮称)について

(抜粋)

地方公共団体が行う社会資本整備について、これまでの個別補助金を原則廃止し、基幹となる事業の実施のほか、これと合わせて関連する社会資本整備や基幹事業の効果を一層高めるための事業を一体的に支援するため、地方公共団体にとって自由度の高い総合交付金を創設する。

平成22年度砂防関係新規制度等

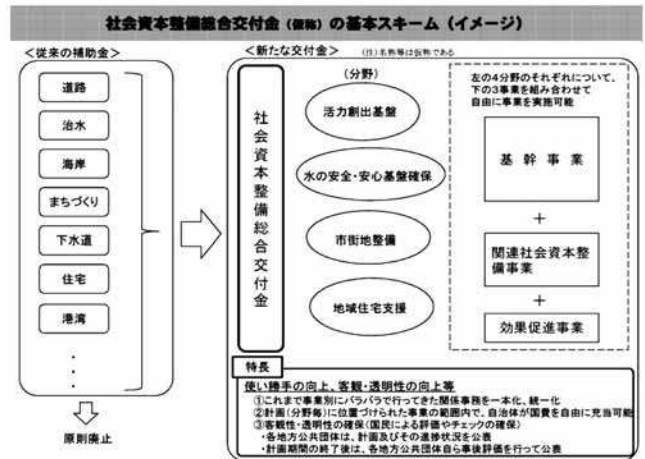
(抜粋)

- 古い砂防堰堤等の内部構造等にかかる調査の実施及び緊急改築にかかる支援を行えるよう措置する
- 警戒避難の判断に高度な技術的知見が必要な天然ダム等の土砂災害が発生した際に、被災状況の緊急調査や監視・観測を国が行う仕組みを整備する

平成22年度砂防関係新規箇所

(抜粋)

- ◇ 特定緊急砂防事業：11箇所
- ◇ 特定緊急地すべり対策事業：5箇所



平成22年度国土交通省関係予算総括表(国費)

(単位:百万円)

事項	平成21年度		平成22年度 概算決定額(C)	対前年度倍率	
	予算額(A)	比較対照額(B)		(C/A)	(C/B)
治山治水	811,185	597,410	613,129	0.76	1.03
社会資本整備総合交付金	—	—	2,200,000	皆増	皆増
その他(道路・港湾等)	4,921,228		2,045,405		
公共事業関係費計	5,732,413		4,858,534	0.85	

1. 本表は、沖縄振興開発事業費の国土交通省関係分を含む。
2. 本表のほか、内閣府一括計上の地域再生基盤強化交付金がある。
3. 「比較対照額」は、H22の経費の範囲にあわせてH21組み替え掲記。
4. 計数は、整理の結果、異動することがある。
5. 行政経費等は除く

NPO法人 森と水辺を育てる会(静岡市清水区)が「土砂災害防止功労者」(国土交通大臣表彰)を受賞

6月2日、甲府市で開催された「土砂災害防止推進の集い(全国大会)」において、全国受賞の8つの個人・団体のうち、同会が受賞しました。



「土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文」の受賞

絵画1点、ポスター2点、作文2点の計5点が国土交通省砂防部長賞を、他3点が県知事賞等を受賞しました。

櫻井河津町長が、全国治水砂防協会会長賞を受賞

協会の発展の長年にわたる多大な功績を讃えての受賞です。

砂防協会会員が鹿児島県・熊本県砂防事業等を視察

8月20～22日、原田団長(袋井市長)以下19名が参加し、警戒避難の先進地垂水市、桜島火山砂防、過去に大規模な土砂災害が発生した水俣市、美里町等を視察しました。



土砂災害「全国統一防災訓練」を県内34市町で実施

約1,800人が参加し、土砂災害警戒情報の伝達訓練や避難勧告の発令、避難訓練を行いました。

川勝平太静岡県知事の誕生、富士山静岡空港の開港

7月5日の県知事選挙で、川勝平太氏が初当選しました。また、6月4日には富士山静岡空港が開港しました。

*順番、枠の大小、写真の有無などについては、ニュースの大小を表していません。

「全国治水砂防促進大会」開催される

11月17日に、全国治水砂防促進大会が砂防会館（東京都千代田区）で開催されました。

当日は全国から961名が参集し、当支部からも10名のご出席をいただきました。大会に先立ち、明治大学大学院教授、元東京都副知事の青山氏より、『噴火・水害・水需要を考える』と題して特別講演が行われました。

大会は綿貫全国治水砂防協会長の挨拶に始まり、亀江幸二常務理事から平成21年の土砂災害及び平成22年の砂防事業予算概要についての説明があり、その後、会員代表者として、福岡県笹栗町の三浦正町長と富山県立山町の舟橋貴之町長による意見発表が行われました。

最後に、長崎良夫副会長より砂防関係事業の促進についての提言発表があり、満場一致で採択されました。

大会終了後、当支部会員の皆様により、地元選出国会議員へ、また事務局より国土交通省へ、平成22年度予算の確保に向けて要望活動を行いました。お忙しい中、ご出席をいただいた会員の皆様には、心より御礼申し上げます。

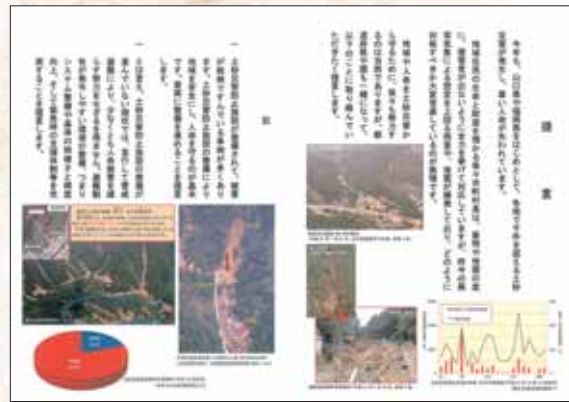


青山倫氏による特別講演



舟橋貴之富山県立山町長による意見発表

社全国治水砂防協会の提言



静岡県支部の要望

1. 直轄砂防事業の推進

- ・富士山の総合的な活火山対策
- ・富士山砂防事業：大沢川源頭域調査工事
- ・安倍川砂防事業：大谷山腹工、三河内川右支川ウラの沢砂防堰堤
- ・狩野川砂防事業：日向地区砂防えん堤群、丸の沢砂防えん堤

2. 直轄地すべり対策事業の推進

- ・由比地区直轄地すべり対策事業

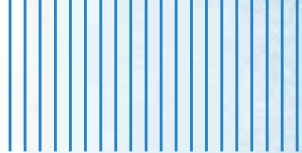
3. 県による土砂災害防止施設（砂防、地すべり対策、急傾斜地崩壊対策）の整備とソフト対策の推進への支援・協力

- ・東海地震に備えた防災施設の緊急的な設備
- ・災害要援護者施設を保全する土砂災害対策の推進
- ・土砂災害防止法に基づく「基礎調査」の推進
- ・安全で迅速な避難のための土砂災害対策の推進

参加市町(10市町10名)

袋井市、河津町、伊豆市、伊東市、伊豆の国市、島田市、函南町、松崎町、東伊豆町、南伊豆町





治山・砂防事業推進議員連盟が砂防事業を視察

10月26日、水と豊かな生活環境の創造と安心して暮せる社会基盤の整備を目標に、砂防事業の推進を目指す「静岡県議会 治山・砂防事業推進議員連盟」による、静岡市駿河区及び葵区の砂防事業等の現地視察が行われました。

今回の視察には、会員72名のうち22名が参加し、平成15年7月の梅雨前線豪雨により土砂の流出が発生したセリガ谷沢の通常砂防事業や、裏山の崩壊により災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業を実施した大和田地区などを視察しました。

あいにくの雨にもかかわらず熱心に現場の状況を見ていただき、工事現場における疑問点について活発に意見等が出されるとともに、事業効果の発現状況も確認していただき、土砂災害対策事業の重要性について再認識していただきました。



駿河区丸子地区（セリガ谷沢）にて

- ### 視 察 地
- 静岡駅集合
 - 【現場1】 葵区富厚里地区
ヨウケンシ治山事業
 - 【現場2】 駿河区丸子芹が谷町
セリガ谷沢砂防事業
 - 【現場3】 駿河区大和田町
大和田急傾斜事業
 - 静岡駅解散



役 員	
・会 長 奥之山 隆	・幹事長 前沢 侑
・幹 事 野澤 義雄	・幹 事 杉山 盛雄
・幹 事 谷 卓宣	

参加議員22名（敬称略、順不同）

・込山 正秀（自民）	・前沢 侑（自民）	・四本 康久（平成21）	・高田 好浩（公明）
・杉山 盛雄（自民）	・中澤 通訓（自民）	・大塚 善弘（平成21）	・前林孝一良（公明）
・須藤 秀忠（自民）	・大場 勝男（自民）	・佐野 愛子（平成21）	・谷 卓宣（公明）
・天野 一（自民）	・奥之山 隆（自民）	・戸塚久美子（平成21）	・小長井由雄（民無ク）
・山田 誠（自民）	・高田 泰久（平成21）	・三ツ谷金秋（平成21）	
・堀江 龍一（自民）	・植松 明義（平成21）	・野澤 義雄（平成21）	（会派は当時）

市町等砂防担当職員研修

11月5日～6日、県内市町の砂防担当職員、県土木事務所職員を対象にした、砂防関係事業全般の講習及び現場研修を新潟県で開催し、20名の方に参加をいただきました。

初日は事務研修として、①砂防事業について②急傾斜・地すべり事業及び土砂災害防止法について③土砂災害警戒情報と警戒避難体制について、という3本柱で、砂防室職員が講師となり講習会を行いました。講習会終了後、参加者全員が参加して、日頃触れ合うことの少ない他市町や土木事務所職員の方との意見交換会和やかな雰囲気の中開催されました。

2日目は、新潟県長岡振興局の協力のもと、平成16年10月に発生した中越地震で甚大な被害を被った妙見地区、東竹沢地区の土砂崩れ復旧現場、油夫地区の地すべり復旧現場等、旧山古志村を中心とした被災現場における復興状況を視察しました。参加者からは、「被災当時の生々しい現場を見学でき、非常にリアリティーを感じる事ができた」「震災後の復旧工事、埋もれた世帯の集団移転等、これらの対応には想像を絶するものがあった」など、多くの貴重な意見、感想が寄せられました。

日程

11月5日(木) 新潟県長岡市 現地集合
講習会
・砂防事業について
・急傾斜、地すべり事業について
・土砂災害警戒情報と警戒避難体制について

11月6日(金) 現場視察
(妙見地区、東竹沢土砂崩れダム復旧現場等)
長岡市山古志支所にて建設課長より講話
中山隧道見学

参加市町

静岡市、浜松市、沼津市、富士市、焼津市、伊東市、袋井市、湖西市、西伊豆町、袋井土木事務所、富士土木事務所、沼津土木事務所、熱海土木事務所、事務局



現場研修の様子



芋川の（木籠地区）の水没集落



楢木地区、崖崩れ復旧の様子



講習会の様子

妙見地区道路災害復旧工事現場

妙見地区は、中越地震により震源に近い長岡市妙見町地内の一般県道小千谷長岡線において、大規模な崩落が発生した現場です。

車両4台が巻き込まれ、男児1名が奇跡的に救出されたものの、2名の尊い命が犠牲となったことは私たちの記憶にも新しく、今もなお災害の悲惨さを物語っておりました。

大規模地すべりが発生した▶
妙見地区にて



東竹沢土砂崩れ復旧現場

芋川左岸における大規模な地すべり発生により、河道が閉塞され上流部の東竹沢地区木籠集落の他、主要地方道柏崎高浜堀之内線600mが水没し、水没した木籠集落の住民は集団移転を余儀なくされました。

対応としては、河道閉塞箇所の下流に2基の砂防えん堤を施工し、河道閉塞箇所の崩落斜面の法面対策工事が行われました。上流側の2号堰堤は斜面崩落で発生した土砂を活用しているとのことでもあります。

また、地すべりを起こした斜面は、不安定な土砂を全て取り除き、種子を吹きつけているそうです。



完成した東竹沢砂防えん堤群

参加者の声



■ 浜松市土木部河川課 副技監 加藤 博文さん

平成21年11月5日から6日の日程で、砂防協会静岡県支部が主催する研修に初めて参加しました。

第1日目の研修会では、砂防関係事業全般について県砂防室職員の方から説明を受けました。市にとっては馴染みの少ない分野ですが、土砂災害は今や全国共通の話題となっています。土木技術職員にとってこれらの分野に関する知識を備えておくことは、風災害や地震等の災害時に役立つばかりでなく、通常事業の執行においても有益なことだと感じました。第2日目の現場研修では、中越地震の被災中心地である山古志村を訪れました。当時の被害の甚大さに圧倒されるとともに、わずか5年の歳月で見事に復旧・復興を成し遂げた関係者皆様の、並々ならぬ尽力の成果を肌で感じる事ができました。また、宿泊地での意見交換会では、県及び他市町において砂防関係事業をリードしている方々と貴重な意見交換ができ、有意義な研修会となりました。

今回の研修で得られた新しい発見や人脈を、今後の職務において有効に活用していきたいと思っております。

■ 伊東市建設部建設課 技師 島田 祐基さん

平成16年に起きた新潟県中越地震の被災現場（復旧箇所）を今回の研修で視察することができました。私自身、平成17年に一度被災箇所お見学したことがありますが、その時にはまだ復旧が始まって間もないころで、プレハブでできた仮設の避難住宅等が立ち並んでおり、多くの箇所が被災した時の状態で残っていました。

今回4年ぶりに現地の視察をしましたが、テレビ等で報道されていた山古志村や土砂崩れにより亡くなられた方がいた妙見地区では、いたるところに法枠や堰堤等の構造物が作られており、その数や規模が災害の大きさを物語っていました。

また、山古志支所の建設課長さんが体験した被災時の貴重なお話を聞くことができ、改めて災害の恐ろしさを、思い知らされました。

今回の研修を通して、改めて砂防事業の重要性を再認識すると共に、災害に強いまちづくり、住民が安心して生活することができるまちづくりが出来る様、今後頑張っていきたいと思っております。



「避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成に係る説明会」の実施

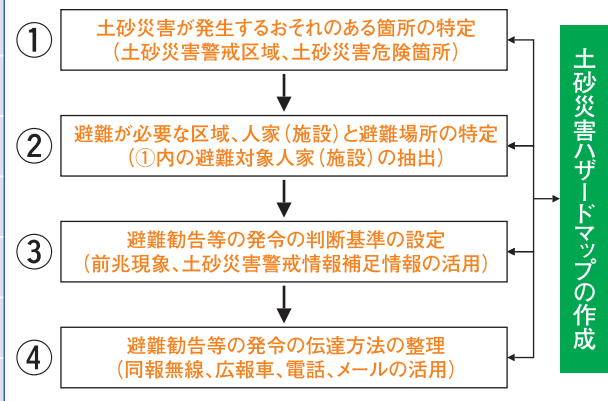
平成21年7月の中国・九州北部豪雨及び平成21年台風9号に伴う大雨では、各地で水害・土砂災害が発生し、災害時要援護者をはじめ多くの方々が被災しました。

このような状況に鑑み、県では11月下旬から12月上旬にかけて、防災部局である危機管理局主催の「避難勧告等の判断・伝達マニュアルの作成に係る説明会」を県内4地区で実施し、県内各市町に対して避難勧告等に係る発令の判断基準の策定等を促進するとともに、市町の防災担当者や建設部局担当者と、「警戒避難体制の整備」について活発な意見交換を行いました。



砂防室からは、避難勧告等の判断・伝達マニュアル（土砂災害版）の作成に係る事項として、土砂災害警戒情報や補足情報を活用した避難勧告等の判断基準の作成と土砂災害防止法第7条（①市町村地域防災計画への記載 ②災害時要援護者への情報伝達体制の規定 ③土砂災害ハザードマップの作成）について説明を行いました。

避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成の手順



②避難が必要な区域、人家（施設）と避難場所の設定

避難勧告等発令区域一覧表(案)

市町	地区	自治会 (自主防災会)	自主防代表者 連絡責任者 (避難対象人家は別表)	メッシュ番号 (5km)	対象地域 (警戒区域 危険箇所)	避難所	避難所施設 管理者	災害時 要援護者施設 ※別表参照	備考
A地区	a地区	ア	〇〇〇〇 TEL:#####	123 124	〇〇〇〇 ×××× △△	〇〇 小学校	●●●● TEL:#####	11.A老人ホーム	
		イ	△△△△ TEL:#####	122 124	●●〇〇 ×××× □□	×× 公民館	▲▲▲▲ TEL:#####	12.B幼稚園	
	b地区	ウ		123				13.C病院	
	c地区	エ							
B地区	d地区	オ							

避難勧告等発令区域一覧表(案)

NO	施設名	住所	電話番号	施設人数
11	A老人ホーム	〇〇市△△123-1	***-***-****	50
12	B幼稚園	〇〇市△△123-2	***-***-****	30
13	C病院	〇〇市△△123-3	***-***-****	200

①土砂災害が発生する恐れのある箇所の特定



土砂災害警戒情報
補足情報提供システム

砂防室ホームページの
「土砂災害情報マップ」

③避難勧告等の発令基準例（警戒判定メッシュの活用例）

気象情報発表基準等	防災情報 提供システム (気象台)	補足情報 提供システム (県砂防室)	メッシュ対象市町の対応例	
大雨注意報 発表基準	予測及び 実況	黄 ■	・ 防災体制準備及び配備 ・ 補足情報提供システムの開始	
大雨警報 発表基準	予測及び 実況	橙 ■	・ 防災体制配備及び警戒強化 ・ 補足情報提供システムの監視強化	
土砂災害警戒 情報発表基準 超過	3時間後 予測	橙 ■	黄 ■	・ 避難勧告等発令対象区域の絞り込みを開始 ・ 避難基準(要援護者避難)情報の検討・発令 ・ 避難勧告等発令対象区域(地区代表者)への 事前連絡 ・ 避難所開設者への事前連絡
	2時間後 予測	赤 ■	橙 ■	・ 土砂災害警戒情報を受信(市町長へ連絡) ・ 住民への注意喚起、自主避難連絡 ・ 災害時要援護者避難所への連絡
	1時間後 予測	赤 ■	赤 ■	・ 避難勧告等発令対象区域の決定 ・ 避難所の安全確認及び開設
	実況値	赤 ■	紫 ■	・ 避難勧告等の発令

※危険度判定のための計算にはかなりの時間を要するので、必ずシステムの表示時間を確認してください。
※土砂災害警戒情報の「解除」は、発表時とは別の判断基準や災害の発生状況により行いますので、システムの
色分けが消えてしまっても、「解除」の発表までお待ちください。
※避難勧告等の発令は、上記メッシュ判定の他にも、現場における前兆現象なども考慮が必要です。

地区	開催日	場所	参加人数	
			市町	国・県・関係機関
賀茂	H21.11.24	下田総合庁舎6階 第3会議室	10	16
東部	H21.11.30	東部総合庁舎別棟2階東部方面本部室	25	30
中部	H21.12.7	藤枝総合庁舎別館第1会議室	18	23
西部	H21.12.8	中遠総合庁舎西部方面本部室	23	20

由比地すべり対策事業について

富士砂防事務所で開催されている、地すべり対策事業についてご紹介します。

現在、由比地区（静岡市清水区由比）には、日本の大動脈である国道1号・東名高速道路・JR東海道本線といった重要な交通網が集中しており、この地域で地すべりが発生した場合、東西を結ぶ交通網が寸断されることによって生じる経済被害・人的被害は計り知れないものがあります。



この由比地区（サッタ山）において、静岡県では昭和45年度より防災対策を実施してきましたが、大規模地すべりの地形が確認されたことや、中央防災会議の東海地震想定震度発表（震度6強～震度7）を受け、豪雨や東海地震等による地すべりの発生が懸念されるため、平成17年度より国土交通省による直轄事業が始まりました。

地質調査の結果では、地すべりの深さは最大で65mあるということが判明し、現在は、対策施設の設計と対策工事を行っています。

現在行っている対策工事は、抑制工という地すべり発生の主要因である地すべり土塊の中に溜まっている地下水を抜くためのものです。抑制工には、集水井工と横ボーリング工があり、集水井工は地下深くにある地下水を、ボーリング工は地表近くの地下水を抜くために用いられるものです。



薩埵峠より由比地すべりを望む



集水井工設置の一例

東海地区直轄事務所長・砂防担当課長会議が開催される

11月11日、東海地区直轄事務所長・砂防課長会議が三重県津市で開催されました。

会議には、国土交通省中部地方整備局水谷地域河川課長をはじめ、東海地区の直轄事務所長と各県砂防主管課長が出席し、砂防施設の点検、直轄砂防区域内における県砂防事業との調整、8月11日に駿河湾内で発生した地震への対応などについて、活発な意見交換が行われました。

土砂災害防止法に関するブロック会議が開催される

10月27日、中部ブロック土砂災害防止法検討会議が愛知県庁三の丸庁舎（名古屋市）で、開催されました。

会議には、国土交通省砂防部砂防計画課の河井砂防管理室長をはじめ本省砂防部、中部地方整備局、東海4県の担当者が出席し、「H21に発生した土砂災害等を受けた区域指定及び警戒避難体制の強化」や「土砂災害防止法に関する取り組みについて」等を議題に各県による事例発表の後、各県が抱える課題などについて議論しました。

砂防学会シンポジウムが開催される



市野々原天然ダムの河道掘削の状況

11月4日・5日に第41回(社)砂防学会シンポジウムが、「中山間地域における大規模地震と土砂災害」をテーマに岩手県一関市で開催され、県内より6名の職員が参加しました。

冒頭で、水山高久砂防学会長より「砂防の研究、技術者にとっては災害が教師。」と挨拶があり、シンポジウムでは、天然ダムに対する対応や行政の緊急対応について話題提供やパネルディスカッションが行われました。

また、現地見学会では、市野々原の天然ダム、祭時大橋の橋梁災害、荒砥沢の大規模地すべり、駒ノ湯の土石流の状況を見学し、復旧対策について理解を深めました。

東海地区地すべり・急傾斜地担当者会議が開催される

11月18日から19日にかけて、東海4県地すべり・急傾斜事業担当者会議が名古屋市で開催されました。18日の会議では、中部地方整備局地域河川課の奥村係長・河辺技官をはじめ東海4県の担当者より、それぞれの事業の実施上の課題について活発な意見交換が行われました。また19日の現地研修では、愛知県内の急傾斜地・砂防の現場での活発な意見交換が行われ、有意義な会議となりました。来年度は本県が開催地となりますので、他県の担当者に来ていただき喜んでもらえるよう、静岡県とのPRも積極的に行いながら、有意義な会議にしたいと思っております。

平成21年度静岡県砂防・治山連絡会議を開催

12月16日、平成21年度砂防・治山連絡会議を静岡県庁別館で開催しました。

会議には、国土交通省中部地方整備局、静岡河川事務所、沼津河川国道事務所、富士砂防事務所、関東森林管理局、静岡森林管理署、伊豆森林管理署、天竜森林管理署、大井川治山センター、県砂防室・森林保全室の各機関が出席し、来年度以降予定されている砂防事業、治山事業が効率的に実施できるように協議・調整を行いました。



静岡県砂防治山連絡会議

砂防研究報告会が開催される

第22回（平成21年度）砂防研究報告会が、10月7日に砂防会館別館で開催され、関係機関から132人の参加がありました。当初は7、8日の2日間での開催を予定していましたが、接近する台風18号の影響により、7日のみの開催となりました。報告会では、南砂防計画課長の挨拶に引き続き、砂防関係研究機関の概要説明や事例・調査報告が行われ、その後各分科会に分かれて討論を行いました。第五分科会『土砂災害警戒情報と警戒避難における課題について』では、各県で実施している警戒避難に関する取り組みなどについて討論をしました。

東海地区砂防担当者会議が開催される

12月17日～18日にかけて、平成21年度東海地区砂防担当者会議が三重県松阪市で開催されました。

17日の会議では、中部地方整備局地域河川課より、鋼製透過型砂防えん堤の効果事例や、砂防えん堤のリダンダンシーについて説明がありました。また、計画基準点下流の流末整備の手法や鋼製構造物についての考え方等、各県から提案された議題について議論を行い、理解を深めました。

18日は、平成16年9月の大台町の大規模土砂災害（台風21号）に対する対応状況や、伊勢神宮内の五十鈴川の溪流保全工の



春日谷1号砂防ダム

現地見学を行いました。INSEM—ダブルウォール工法の春日谷川1号砂防ダム（H=24.5m）や、ダブルウォール工法の春日谷2号砂防ダム（H=14.5m）では、最新の工法の理解を深めると共に、流水の多い場所では、中詰材に土砂を使用するダブルウォール工法が適さないことを研修しました。

全国がけ崩れ対策協議会 研究発表大会が開催される

11月5日・6日にかけて、全国地すべりがけ崩れ対策協議会第63回研究発表大会が愛知県常滑市で開催されました。国土交通省砂防部保全課の判田課長補佐より「土砂災害対策の最近の動向」と題した講演が行われ、各県の担当者等から13件の発表がありました。いずれの発表についても活発な意見交換が行われました。また、6日は現地見学会が行われ、常滑市内の急傾斜地崩壊防止施設や「やきもの散歩道」を見学しました。現地材料である「やきもの」を使用し、景観にも配慮した土留め工法について理解を深めました。

お知らせコーナー

第50回 砂防および地すべり防止講習会

砂防および地すべり対策業務を担当する中堅職員の実施並びに関連知識の習得を通じ、今後の円滑な業務の遂行に資するため、講習会が開催されます。

日 時：平成22年3月11日・12日
 会 場：砂防会館別館1階「利根」
 参加費：5,000円（会員市町の参加費は当支部で負担します）
 主 催：全国治水砂防協会 TEL(03)3261-8386
 問合せ先：全国治水砂防協会静岡県支部 TEL(054)221-3042



平成22年の 砂防関係の 主な行事



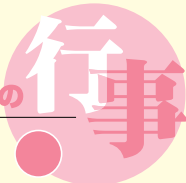
●支部活動予定

2月	5日	静岡県砂防ボランティア協会総会及び研修会
5月	27日	静岡県支部通常総会（静岡市）
6月	6日	土砂災害に対する全国統一防災訓練
	1～7日	がけ崩れ防災週間
	1～30日	土砂災害防止月間
	中旬	砂防フェスティバル
8月	下旬	市町長等砂防事業県外視察
11月	初旬	市町等砂防担当職員研修

●協会本部活動予定

3月	11・12日	砂防および地すべり防止講習会（砂防会館）
5月	18日	評議員会・参与会（砂防会館）
	19日	第74回通常総会（砂防会館）
11月	29日	参与会（砂防会館）
	30日	全国治水砂防促進大会（砂防会館）

その他の



平成21年度

10月	16日	国際砂防フォーラム（富山県）
	23日	富士山大沢川扇状地40年座談会（富士宮市）
	29・30日	2009火山砂防フォーラム（鹿児島県）
11月	24日	東海地区支部長・砂防課長会議（愛知県）



【表紙写真】

海辺の旋律〈撮影地：三保海岸〉
 黒田 善廣さん（静岡市）

※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しています。皆様のご協力をお願い申し上げます。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

編集・後記

新年明けましておめでとうございます。昨年は、山口県防府市や福岡県などでの豪雨災害、また駿河湾を震源とする地震など、全国的にも災害の多い一年であり、自然災害の脅威と砂防事業の重要性を再認識する年となりました。本年も、「皆様のお役に立つ、見やすくわかりやすい誌面づくり」に努めて参りたいと思っております。年頭にあたり、会員皆様方の御多幸を祈念しますとともに、本年も砂防だよりをご愛読いただけますよう、よろしく願い申し上げます。

砂防だよりは砂防室ホームページでご覧いただけます。 <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke350/index.html>